

名古屋市 御中

名古屋城木造天守閣の昇降に関する  
新技術の公募支援業務委託（令和3年度）

お打合せ資料【第29回】

令和4年1月19日

株式会社日本総合研究所

## 本日アジェンダ

日時：1月19日（水）09：30～11：00 ※オンライン会議

1. 名古屋市様からの情報共有

2. 公募要項等について

(資料なし)

3. 公募開始の周知

別添1関係

1. 関心事業者に対する周知
2. 国際的な周知

4. 次年度スケジュール

2P

5. 納品

別添2関係

6. 次回打ち合わせの議題について

## 次年度スケジュールに関する分析

	貴市作成スケジュール	弊社作成スケジュール	弊社コメント
公募開始	2022年4月18日	2022年3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴市スケジュールより早期の公募開始が望ましいのでは？</li> </ul>
審査申請書類締切	2022年8月12日	2022年7月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴市スケジュールの締切を前倒してよいのでは？</li> </ul>
評価員・技術相談員会（第4回）	2022年8月22日～26日	2022年7月19日～29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みを考慮すると、準備期間がほぼないのでは？</li> <li>1週の枠で委員会を調整するのは容易でないのでは？</li> </ul>
BCJ協議	2022年8月22日（～11月11日）	2022年7月11日～7月22日	
竹中協議	2022年8月22日～9月9日	2022年8月3日～8月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みを考慮すると、準備期間がほぼないのでは？</li> </ul>
ワークショップ <sup>o</sup>	2022年8月29日～9月9日	2022年8月15日～9月2日	
評価員・技術相談員会（第5回）	2022年9月25日～9月29日	2022年9月5日～9月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴市スケジュールでは、事前準備（意見集約）に時間を要している。</li> <li>1週の枠で委員会を調整するのは容易でないのでは？</li> </ul>
技術対話	2022年10月17日～10月28日	2022年10月3日～10月14日	
評価員・技術相談員会（第6回）	2022年12月5日～12月16日	2022年11月28日～12月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1週の枠で委員会を調整するのは容易でないのでは？</li> </ul>
最優秀者決定	2022年12月26日	2022年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>不測の事態が発生した場合、年内公表が困難となるスケジュールと思われるが支障ないか。</li> </ul>
基本協定	2023年3月20日	—	
昇降技術開発契約	2023年4月3日	—	

## 次回お打合せ

日時：2月2日（水）09：30～11：00 ※オンライン会議

1. 名古屋市様からの情報共有
2. 公募要項等＋公募に関する情報発信
  1. 公募PR動画作成
  2. 公募説明会動画作成
  3. HP製作
  4. スケジュール
  5. 公募概要
3. 国際的な周知方法
4. 納品
5. 次回打ち合わせの議題について

27\_20211222 打合資料題名：名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募の開始時期について

関係者各位

お世話になっております。日本総合研究所の[REDACTED]でございます。

まずは、本事業に係るヒアリング等にご協力いただき誠に感謝申し上げます。

本公募につきましては、諸般の事情により、2022年3月末を目途に公募開始をする運びとなりました。度重なる変更により、ご迷惑をおかけして恐縮ですが、ご理解いただけますと幸いです。

詳細につきましては、準備が整い次第、ご一報差し上げたく存じます。

引き続き本公募にご関心を頂くこと、よろしくお願い申し上げます。

[REDACTED]

About the start date of the Nagoya Castle Challenge

To Everyone involved

Hello. This is [REDACTED] Japan Research Institute.

First of all, thank you for your kind cooperation of the interview about this project.

We are now preparing for starting our competition in end of March. I am really sorry for changing our schedule again and again. I hope you understand our situation.

I would tell you more specific information when we are ready.

I would appreciate if you could be continuously interested in our project.

Sincerely,

[REDACTED]

# 公募開始・説明会開催の告知方針案

## 実施方針に係る確認事項

## 進め方案

		1～2月		3月		4月		5月	
		前半	後半	前半	後半	前半	後半		
マスメディア	地元	<ul style="list-style-type: none"> <li>先方からどんどん食いついてくれるので、従来どおり仕掛けておく                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 特にWebサイト更新時には報道してもらうようにしておく</li> </ul> </li> </ul>							
	全国	<ul style="list-style-type: none"> <li>在名古屋の大手新聞、在京キー局から全国的に取り扱ってもらえるように市から依頼</li> </ul>							
	海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人記者クラブに市長が赴き、発表                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ その際に、サイバスロン等との連携についても伝え、興味を惹いてもらうようにしておく</li> </ul> </li> </ul>							
チャレンジ開催団体	サイバスロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>(次頁参照)</li> </ul>							
	IEEE	<ul style="list-style-type: none"> <li>IEEEのブログ記事に本公募について定期的に掲載してもらう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 本公募開始、説明会、審査会、契約については必須</li> </ul> </li> <li>IEEEの総会などの世界的なイベントで告知してもらう</li> <li>DARPAについてリレーション取れないか打診する</li> </ul> →福田先生に依頼							
	トヨタ・基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者に対して、本公募開始・説明会の告知をしてもらう</li> <li>基金出資等の機会について、検討してもらう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 現在、NESTAへの取次依頼中 (レスなし)</li> </ul> </li> </ul>							
	他	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワールドロボットサミット                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主催のロボット競演会</li> <li>▶ 2020年10月上旬の一週間程度で愛知県国際展示場にて開催予定</li> </ul> </li> <li>国際福祉機器展                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 2020年10月21日(水)～10月23日(金) 10:00～17:00 (23日のみ16:00閉会)で東京ビッグサイトに開催予定</li> </ul> </li> </ul> ⇒それぞれ、市として特別企画展として、国際技術公募の新たな形など銘打って参加・登壇してはどうか？ (スイス大使館&サイバスロンが同様の取組を前回実施)							
		仕掛確認	折衝		プレスリリース案 市長原稿確認		発表		
		内部で方針検討	打診・折衝		連携協定案		リーガルチェック		発表準備
								発表	告知協力

# (参考)サイバスの組織、スイス大使館について

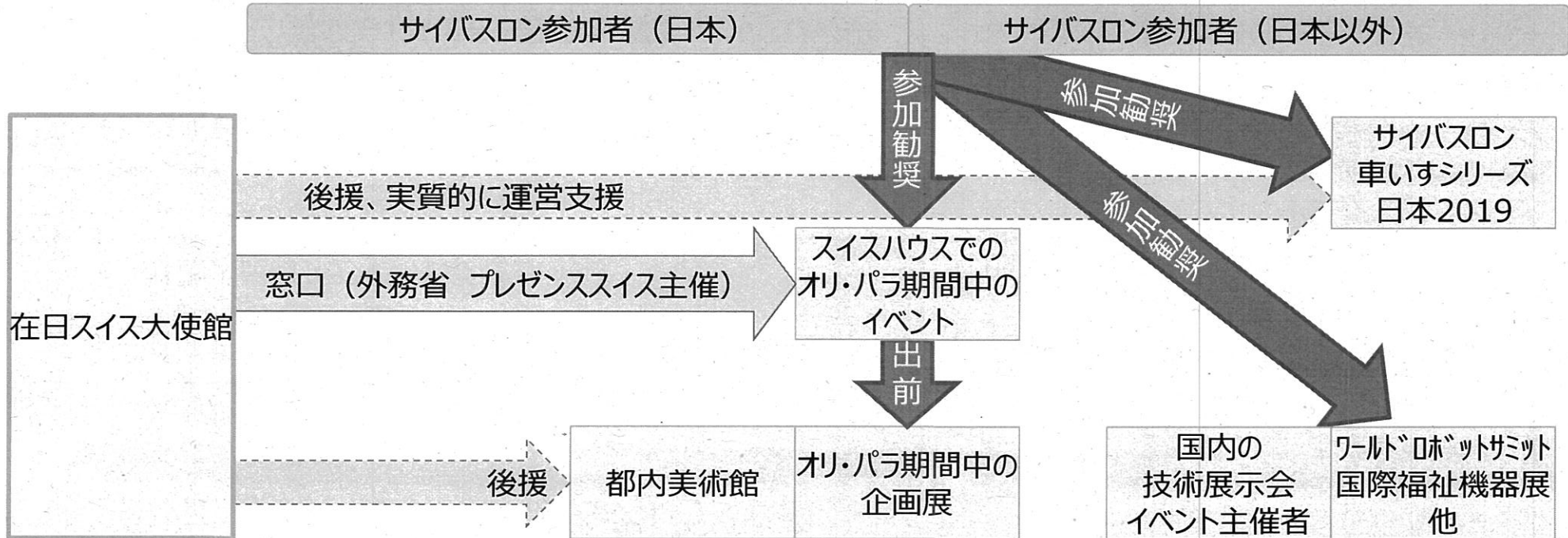
スイス連邦工科大学チューリッヒ (ETH Zurich) ・スイス国立コンピテンスセンター・ロボティクス研究所 (NCCR Robotics)  
ロバート・ライナー (Robert Riener) 教授：創設者

- ストラテジック・ボード ~議決権メンバー~
- ロバート・ライナー (プレジデント)
  - 同大学長
  - ETH財団 (大学財団 おそらく理事)
  - スイス赤十字トップ、他 計8名

- アンバサダー  
~サイバスを支援~
- 山海 筑波大サイバニクス研究センター長、教授、サイバーダインCEO、他 計12名

- アドバイザリーボード  
~実行委員会を支援~
- Peter Neuhaus IHMCリーダー
  - 鈴木 スイス大使館科学技術部長
  - 中嶋 和歌山大教授、他 計39名

- 実行委員会
- ローランド・シーグリスト博士 (エグゼクティブ・ディレクター、長)
  - アン・ファン・デラ女史 (イベント運営トップ)、他 計19名 (Web上記載メンバー)



# 1. オリ・パラ期間におけるスイス大使館様の取組について

東京オリンピック  
パラリンピックに  
おけるブース

- オリパラ中のスイス・ハウスとして、サイバスロン参加者のブースを出展されると認識しております。

- 場所：2020オリ・パラ期間中にスイスハウスとなるThe Mass

- ✓ 表参道のギャラリー、延床192.65㎡、荒木信雄設計



- 期間：一定期間常設展示、デモを行う予定

- ✓ 競技日程やオリンピック期間中でのThe Massの高稼働率を鑑み、以下が可能性大

- オリンピック終了後の8月10日（月）～パラリンピック開始前の8月24日（月）のうち、パラ開始寄りの時期が候補

- 参加予定：スイスの科学技術の紹介という趣旨のため、基本はスイス国内から

- ✓ <外骨格> HSR Enhanced と ETH Zurichの合同チーム（ほぼ確定）

- ✓ <外骨格> TWIICE（予定）…パイロットのシルケ女史がパラリンピアン（手漕自転車）のため、競技日程要勘案

- ✓ <車いす> SCEWO（補記：ヒアリング済）（声掛け予定）…商品化済のため調整期待

- ✓ サイバスロン2020参加者の日本からの5者（声掛け予定）

- 渡航費：スイス国のイベントのため、参加者自費負担ではなく、一部ないし全部を支給予定

- まだまだ検討段階とのことですが、場所狭く、他の企画と連携、調整しつつ実施検討と伺っております。

- 都内の博物館についても、博物館の企画展の一環として、参加者に出向いてもらう予定

- 原則として、スイスハウス外のイベントについては、連携先主催のイベントとして実施し、スイス大使館は後背支援に回るとの方針と伺っております。

- そこで、2つのご提案を考えております。

- ① 名古屋城側でのデモ・イベント実施（案A、Bの双方実施）

- A) サイバスロンの展示会イベント実施

- B) 同時期に実施予定の本公募のプレ審査会（プレビュー会）へ参加勧奨いただく

- ② スイス・ハウスなどにおける告知機会



# 1. 案①：名古屋城側でのデモ・イベント実施方針案（1～4日程度）

	＜案A：市からの修正案＞ サイバスの展示会イベント実施	＜案B：2月19日往訪時の案（修正案）＞ 審査用施設での試行
主催 共催	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイバス主催、スイス大使館後援もしくは共催</li> <li>名古屋市が後援もしくは共催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋市所管</li> </ul>
場所	<p>名古屋城内（観光客が多い）スペースを検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイバスの取組の紹介</li> <li>参加技術の展示、説明、実演</li> <li>屋外テント下でとのことですが、残暑厳しい暑熱環境下で数時間実演させることは本公募や市への心象悪化を懸念します・・・本丸御殿内や徳川美術館などの施設内での開催を検討できませんか？</li> </ul>	<p>名古屋城木造天守閣階段体験館「ステップなごや」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳細は次頁参考資料参照</li> </ul>
日程案	<ul style="list-style-type: none"> <li>スイスハウス出展候補者のうち、パラリンピアンがいるため、パラ期間中は避ける（スイス大使館様調整中）</li> <li>オリンピック終了後～パラリンピック開始前のパラ寄りの期間が有力 8月17日（月）～23日（日）あたりか</li> </ul>	
想定する 来場者	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記日程</li> <li>メディア</li> <li>一般来客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記日程のうち、60分間程度</li> <li>所管部署</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイバスの取組について、告示</li> <li>機器の展示、説明、Q&amp;A</li> <li>施設内でデモンストレーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次審査・最終審査で使用するモックアップ階段上で実際に技術を試行、あるいは審査用に映像記録 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 展示会イベント参加者に参加勧奨（スイス大使館様）</li> <li>➢ 本公募に参加申請のうえ、階段体験館使用の申請をしてもらいます</li> </ul> </li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示会イベントの合間に階段体験館で試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1技術最大60分程度を想定</li> <li>それ以外の時間にて展示会イベントに参加</li> </ul>
想定メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>スイス大使館：サイバスの告知、認知度向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋市：一次／最終審査の参加者を確保</li> </ul>

# 1. 案①: 案B「審査用施設での試行」のルール

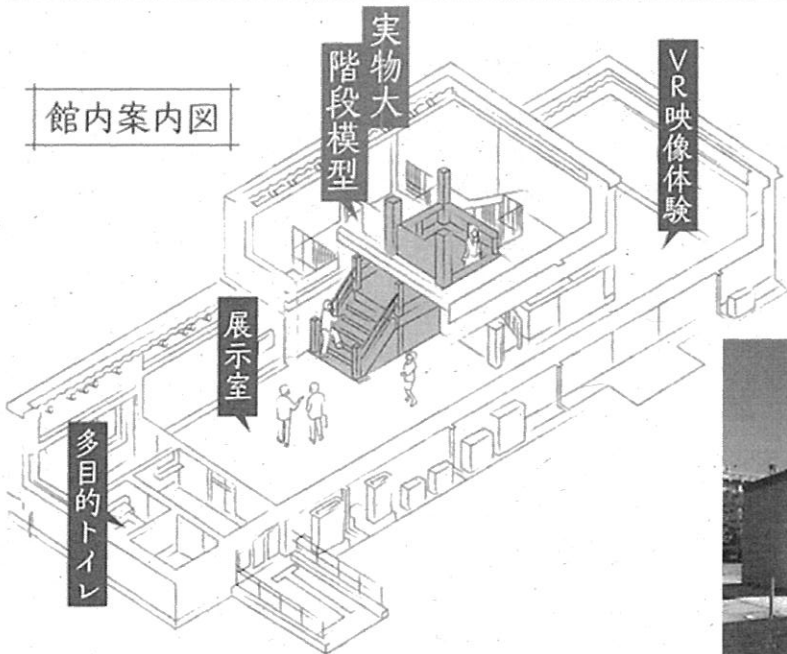
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造天守閣における昇降技術の実施イメージの把握、技術開発に対するフィードバックを得る機会の確保             <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者が自己責任で記録した映像記録は本公募における一次審査／最終審査の映像記録評価に使用することを認める</li> </ul> </li> </ul>
原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則として、使用を申請する者が自己責任及び対人・対物責任のもとで使用</li> <li>所管部署は使用申請の確認と可否の指示、日程調整、立会を行う+ 階段体験館使用スケジュール表のWeb公開</li> </ul>
使用の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見学のみのみ」と「実機の動作試験まで」の2種類での使用             <ul style="list-style-type: none"> <li>「見学のみのみ」：階段体験館の見学に限定された使用</li> <li>「実機の動作試験まで」：階段体験館施設内に試作機を持ち込み、必要に応じ機材の設置・解体を伴い、動作試験を行う使用</li> </ul> </li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次審査期間、最終審査期間を除く原則平日             <ul style="list-style-type: none"> <li>「見学のみのみ」：最長1日間</li> <li>「実機の動作試験まで」：最低2日間、週をまたがない範囲での平日（最長 月～金の5日間）</li> </ul> </li> </ul>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋城木造天守閣階段体験館「ステップなごや」敷地内</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段体験館の使用を希望する者</li> <li>立会人（所管部署）</li> </ul>
参加条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学             <ul style="list-style-type: none"> <li>使用の申し込みは、原則希望日の2週間前までに行うものとし、市と調整の上、使用日時を決定する</li> <li>本公募に対して参加表明提出済である場合、優先する</li> <li>国外からの参加で滞在期間が限定されている場合、考慮する</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作試験まで             <ul style="list-style-type: none"> <li>本公募への参加表明提出済であること ※ご相談事項</li> <li>実施場所での実施が可能な技術であること</li> <li>実機の動作試験及びそれに伴う機材の設置・解体により、階段体験館のモックアップ階段に構造上修復不可能な損傷を与えないこと</li> <li>実機の動作試験に伴う設置・解体を含めた連続専有期間が週をまたがないこと</li> </ul> </li> </ul>
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学             <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;申請・日程調整&gt;                 <ul style="list-style-type: none"> <li>階段体験館使用申請書類                     <ul style="list-style-type: none"> <li>階段体験館使用に際しての安全管理に対する同意書</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作試験まで             <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;申請・日程調整&gt;                 <ul style="list-style-type: none"> <li>階段体験館使用申請書類 ※上記の同意書に加えて                     <ul style="list-style-type: none"> <li>階段体験館内における対人・対物の損害保険加入及び当該保険証写し</li> <li>実技安全性検証チェックリスト（書類提出版）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>&lt;実施前のチェック&gt;                 <ul style="list-style-type: none"> <li>実技安全性検証チェックリスト（直前版）</li> </ul> </li> <li>&lt;実演実施&gt;                 <ul style="list-style-type: none"> <li>機材設置前の写真記録</li> </ul> </li> <li>&lt;実演後&gt;                 <ul style="list-style-type: none"> <li>現状復帰後の写真記録</li> <li>現状復帰検証チェックリスト</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

# 1. 案①: 案B「審査用施設での試行」実施に際しての主たる想定場所

ご提供可能な主たる  
場所

名古屋城木造天守閣  
階段体験館  
「ステップなごや」

- 階段昇降の新技术の実証実験等を実施するために制作
  - 一層から二層まで上がる階段17段、高さ約4m
  - 中間の踊り場までの勾配は約41度、踊り場から上は約47度、最大50度
  - 幅員は約140cm~160cm、段板の厚みは75mm
  - 伝統工法（宮大工）によって焼失前の階段の姿を再現
  - 展示室1：29㎡、2：35㎡、階段モックアップ室：53㎡、トイレ2か所
- その他仕様
  - 実験用電源（各々コンセントを用意）
  - 3相200V：5.5Kw程度（MCCB50AF/50ATのコンセント1か所）
  - 単相200V：2,000VA程度（MCCB50AF/30ATの単独コンセント1か所）
  - 単相100V：1,000VA程度（MCCB50AF/20ATの単独コンセント1か所）
  - 空調条件：想定実験用発熱負荷として1000Wを想定。
  - 換気条件：無し（局所排気不可）
  - 圧縮空気：無し
  - 給水、排水：無し
  - ガソリン等燃料の使用：外部に自家用発電機を用意する場合、都度所轄消防署と要調整



## 1. 案②: スイス・ハウスなどにおける告知機会

ご相談

- スイス・ハウス、あるいは他にオリパラ期間中に確保・展示予定の場所がございましたら、名古屋城の公募のフライヤーを設置させていただけますでしょうか。
- いっぽうで、スイス大使館様の取組についても、フライヤー等をステップ名古屋などに設置させていただきます。（いかがでしょうか？）
- また、差し支えなければ、スイス・ハウスに名古屋城の公募担当者が行き、告示するような機会を設けさせていただくことは可能でしょうか。

## 2. サイバスロンとの連携方針案①

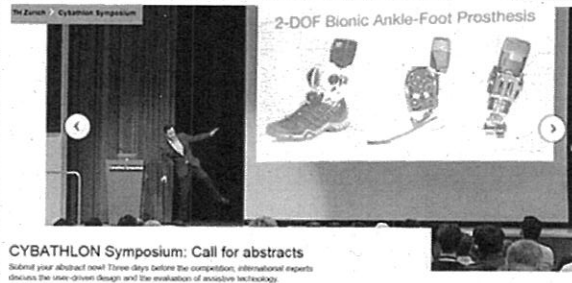
- 告知・・・サイバスロン様が作成しているプログラムに入れてもらうことは可能でしょうか。
  - 1 : シンポジウム ⇒ A) ショートトークセッションにて登壇・告知機会※  
B) ポスター、デモ (ブースと思われる) への参加
- ※ アカデミックな場と理解しておりますので、アシスティブ・テクノロジーの先端技術を自治体が開発しつつ技術調達する取組というテーマで打診予定です
- 2 : 本選でのサポートプログラム ⇒ ポスター、ブース参加

サイバスロン  
2020  
スイスアリーナ  
(チューリッヒ近郊)

シンポジウム  
@アリーナ隣の会場  
4月29日(水)  
アカデミックな交流・支援  
・研究機関などによる6つの  
基調講演  
-サイバスロン趣旨  
-Peter Neuhaus氏  
(IHMC)=ヒアリング先等  
・8つのショートトーク  
・約50のポスター、デモ

本選1日目(予選)  
@スイスアリーナ  
5月2日(土)  
・9時開場  
・10時開始  
・17時終了  
※サポートプログラム:  
終日実施(無料)@アリーナ外  
スポンサーアグリーメント対象

本選2日目(決勝)  
@スイスアリーナ  
5月3日(日)  
・10時開場  
・12時開始  
・18時終了  
※サポートプログラム:  
10-12時(無料)@アリーナ外  
スポンサーアグリーメント対象



CYBATHLON Symposium: Call for abstracts  
Submit your abstract now! Three days before the competition, international experts discuss the user-driven design and the evaluation of assistive technology.



CYBATHLON 2020  
The main CYBATHLON event will take place from 2-3 May 2020, with exciting races in six disciplines.

**ご相談：上記実現には、サイバスロンと正式なパートナーシップを締結する必要がある場合、名古屋市と検討しますので、締結の在り方をご教示いただけますか？**

## 2. サイバスロンとの連携方針案②

プレビュー会 審査会実施に 際してのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"><li>• 2019年8月に公募資料についてレビューのご協力いただきました。誠にありがとうございました。</li><li>• 引き続き、2020年8月下旬予定のプレビュー会やその後予定の一次審査、最終審査などについて、運営面などについてのアドバイスをいただけますでしょうか。</li></ul>
参加者／関係者 の紹介	<ul style="list-style-type: none"><li>• サイバスロン参加者（研究開発者）の引き続きの紹介いただければ幸いです。</li><li>• スポンサーなど、可能でしたら紹介いただければ幸いです。</li></ul>
相互告知	<ul style="list-style-type: none"><li>• 以下、連携できれば幸いです。<ul style="list-style-type: none"><li>• WebやFacebook上での相互バナー、リンク</li><li>• 相互にイベント開催時の告知</li></ul></li></ul>
サイバスロンシリーズ In Nagoya Castleの提案	<ul style="list-style-type: none"><li>• サイバスロン車いすシリーズ日本のように、サイバスロンのスピンオフシリーズを開催などアイデアベースですが、いかがでしょうか。</li><li>• サイバスロン側としては、東京2020と大阪万博（2025）の間の期間におけるイベントとして位置付けていただければ幸いです。</li><li>• 名古屋市としても、最終審査前のタイミングで実施し、たまたま来ていた参加者が最終審査に向けた映像記録のための「審査用施設での試行」に参加いただけると幸い、とのコメントでした。<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 仮称：サイバスロンシリーズ in NAGOYA CASTLE</li><li>➤ 場所：名古屋城木造天守閣階段体験館「ステップなごや」</li><li>➤ 部門：部門1（サイバスロンのExoskeleton）、部門2（Wheelchair）相当</li><li>➤ 時期：現実的には、2022年初（冬季）予定の最終審査の1～2か月前</li><li>➤ スピンオフシリーズ参加時のついでに立ち寄っていただいた「審査用施設での試行」映像は最終審査の映像記録資料として転用可能です…最終審査にも自動的に参加可能に（ただし、本公募への参加表明が必要です）</li></ul></li></ul>

要項等箇所	発言者	主な指摘事項	対応状況（JRI案）（名古屋市案）
公募要項	阿部評価員	評価員の日程の確保については12月公募してからの動き出しで結構だが、3回開催されること、位置づけとして重要な会議であることを踏まえると、仮押さえで結構なので早めに委員の時間を確保してほしい。	12月の公募開始が叶いませんでしたが、公募開始時期に関わらず早めに委員の皆さまに対して日程調整させていただきます。
	阿部評価員	参加者に配る図面や資料がどんなものが把握しておきたい。	取りまとめて、送付させていただきます。
	河田評価員	4月以降の詳細なスケジュールについて、後程共有いただきたい。	12月の公募開始が叶いませんでしたが、公募開始時期に関わらず早めに委員の皆さまに対してスケジュールを共有させていただきます。
	麓技術相談員	P.30の11-3. 知的財産等で「著作権等が必要な場合は公募参加者が取得してください」と、あるが著作権は取得するものか。誰かがだまって明記することなく自分のものとして表現すれば一般的に盗作にあたる。ある人が著作権を申請して得る認識ではない。	11-3. 知的財産権等の文言を修正しました。
	麓技術相談員	もう少し全体の中のバリアフリー関係がウエイトを占めると丁寧に説明したほうがわかりやすい気がする。	ご指摘の通り説明していきます。
	鈴木技術相談員	例えば商社を経由してあるメーカーをノミネートすることも出てくるのではないかと思う。この場合、商社がどこまでメーカーのバックアップやサポートをされるのが気になった。	技術対話等を通じて公募参加者の実施体制を確認します。
	石川技術相談員	知的財産の件でソフトウェアの世界ではオープンソースを使うと知らない間に他社の権利を侵してしまうパターンがある。このような契約時には他社の権利を侵害しないことをご自身で確認してください、補償してくださいという文言が入っていることが多い。そのようなことを少し書いてもよいかもしれない。	11-3. 知的財産権等にて、知的財産権に関する紛争が発生した場合、公募参加者は自らの費用と責任においてこれを解決すべきことを明示しました。
	山田技術相談員	NDAを企業と技術相談員で結ぶことは許されないのか。できれば実用化段階が決まった勝者に対して、いろいろとアドバイスができるスタンスでいればよいのかもしれないが、それを言わなかったためにそこが落ちてしまうこともあり得るので再考していただきたい。	名古屋市としては、「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募に伴う評価員及び技術相談員に関する事務取扱要領」にて評価員・技術相談員の先生方には守秘義務を負っていただいておりますので、技術相談員の先生方と公募参加者が新たにNDAを結ぶ必要はないと認識しておりますが、公募参加者が先生方とNDAを結びたいと要望してきた場合には臨機応変に対応したいと思います。ただし、本公募におきましては知財関係は公募参加者に帰属することとなりますので、ご理解賜ればと思います。
審査基準	鈴木石川技術相談員	耐用年数は、5年以上という意図か。「以上」としないと。5年で逃げられるようなイメージがつく。	最低要求水準10を「導入後も日本国内で5年以上サポートし続けられる体制が具体的に記載されているか」と修正しました。
様式集	山本評価員	事業の冒頭に全額事業者に支払ってしまっても実際に対応がなされないような事態は避けたい。ただ、完了時に一括というのも企業にとっては厳しい面があると思われる。	様式3-6に各年度の費用見込みを記載させる様式を追加しました。
	石川技術相談員	様式集P.8の様式3-2技術概要は技術屋さんが書きそうなので、なにを書いているのか一般的にわかりにくいパターンになると誰かが翻訳しないとイケないかもしれないと心配している。	様式3-3技術概要（ワークショップ提示用）を追加しました。
その他	山田評価員	どこまでするかということもあるが、今はネットで配信ができるので、結局国際公募を想定していないのでは、となるのではないか。ある程度形式的に整えて最低限の事をされることを考えないとそれが重要では。検討されたら教えてほしい。	